

① 食育月間の取組

課・事務所・市町名	加西市立泉中学校
取組の名称	ベビーリーフの水耕栽培と調理
実施時期	令和3年度5月10日（月）～6月24日（木）
取組内容	<p>加西市立泉中学校2年生67名</p> <p>技術の生物育成の領域でベビーリーフの水耕栽培と観察、また収穫したベビーリーフを使って家庭科でサラダに調理する学習をしました。</p> <p>水耕栽培のメリットをふまえて、栽培に必要な窒素、リン酸、カリウムなどの栄養を含んだ栄養水によりベビーリーフを育てることを目標に栽培に取り組みました。</p> <p>種を蒔いて、芽が出てから3週間は天候不良のため室内で栽培しました。一週間ごとに栄養水を交換して観察する度にベビーリーフの葉や、水中の根の成長を確認できました。生徒は成長の喜びを感じ意欲的に栽培活動や観察と記録に取り組みました。葉が10～12cm程に成長したので、ベビーリーフが一層成長することを期待して栽培容器を露地に出しました。ところが、豪雨にうたれたり、虫にかじられたりして露地に出す前よりも発育状態が悪くなってしまい残念でした。</p> <p>種蒔きから6週目の調理実習時には全体の3割程度の生徒は野菜がよく成長したことで、たくさんの収穫量を得ることができました。しかし、その他の生徒は栽培がうまくいかずに少ない収穫量になってしまいました。</p> <p>調理実習では、それを6つの生活班ごとに班員全員の収穫物を合わせて調理することにしました。ザルに入れて水洗いをし、ゆで卵のみじん切りと合わせて、手作りのドレッシングをかけて盛り付けをしました。少しの野菜でしたが、しっかりした味に仕上がりました。</p> <p>生徒は今回の栽培学習で、野菜作りは天候に左右されること、虫害の恐れがあることなどに気付くことができました。今回の失敗から学んだことを活かし、多くの生徒たちが10月頃の涼しくなった時期に2回目の栽培をして、次回はもっと上手に栽培して収穫量を増やしたいと感想を述べていました。生徒には自宅のそれぞれの環境の中で、工夫しながら2回目のベビーリーフの栽培と観察に取り組みさせる予定です。</p> <p>今回学んだことを活かして、野菜の収穫量を増やし、おいしく調理できることを期待しています。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 5px;">ベビーリーフの観察の様子</div> 